

# スパイラルリングの09

全40口 ●1口50万円（総額2,000万円）

生産 白老ファーム 繋養 早来ファーム



# 118



118

フジキセキ × スパイラルリング [牡]

フジキセキ  
青鹿 1992

牡・青鹿毛  
2009年  
4月2日

スパイラルリング  
栗 2002

\*サンデーサイレンス  
Sunday Silence  
青鹿 1986

Halo

Hail to Reason

Cosmah

Wishing Well

Understanding

Mountain Flower

\*ミルレーサー  
Millracer  
鹿 1983

Le Fabuleux

Wild Risk

Anguar

Marston's Mill

In Reality

Millicent

\*エンドスウィープ  
End Sweep  
鹿 1991

\*フォーティナイナー

Mr. Prospector

File

Broom Dance

Dance Spell

Witching Hour

\*ウェディングバンド  
Wedding Band  
青 1987

Mighty Appealing

Valid Appeal

Patsy's Lil Girl

Ring of Steel

Assagai

Spinning Reel(8)

## 母系

## FAMILY

**母の父** \*エンドスウィープ End Sweep は米国産、米6勝、ハイランダー H-CAN1, ジャージー ショアBCS-G3。【BMS:主な産駒】ゲシュタルト(京都新聞杯-G2), アルーリングボイス(ファンタジーS-JPN3, 小倉2歳S-JPN3), シーズ インディ マネー(シーウエイS-G3), オースミマーシャル(野路菊S-OP), ペイ ストーリー(WATCパースC-G22着)

**母** スパイラルリングは3~5歳時、21戦2勝。本馬が初仔  
**祖母** \*ウェディングバンド Wedding Band は米国産、米5勝、Cameo S, Flirtation S3着。産駒

**シティ バンド** City Band: 米6勝、オーク リーフS-G1, ゴールデン ロッド S-G3, Queen Breeders' Cup S, ハリウッド スターレットS-G1 2着, ターフウェイBCS-G22着, ダヴオナ デイルS-G32着, フォワード ギャルS-G32着, Bourbonette S2着, Glamour S2着, Delaware Oaks3着, トップ フライトH-G25着。産駒

**ウェザー ウォーニング** Weather Warning: 米3勝, Manitoba | Lotteries Derby, Hansel S3着

**フーリッシュリー** Foolishly: 米3勝, Snow White S

**ストーム タイド** Storm Tide: 米1勝。産駒

**アメリカン ライオン** American Lion: 米3勝, イリノイ ダービー-G3, ハリウッド プレヴェューS-G3, ロバートB, ルイスS-G23着, サン フェリーベS-G24着

**スティール バンド** Steel Band: 米入着。産駒

**スティールリン** Steelin': 米5勝, Bangles and Beads S, Vacaville H2着

**ライカート**: 2勝

**曾祖母** リング オブ スティール Ring of Steel は米1勝。産駒

**シビ** Oti Sibi Oti: 仏1勝。産駒

**デザート ジョー** Desert Jo: 米14勝。産駒

**イチバン デュク** Ichiban Duc: 米7勝, Earlene McCabe Derby3着

**四代母** スピニング リール Spinning Reel は米1勝。**キングズ リール** King's Reel (ラウンド テイブルH-G3)の母, **リアリー クイック** Really Quick (アディロンダックS-G2)の祖母

## ポイント

## POINT

透き通る薄い皮膚に包まれた漆黒の姿を目の当たりにすると、“ネコ科のような”と形容されたサンデーサイレンスのDNAが表現されていることが伝わってきます。緩やかで伸びのある身のこなしが特徴である反面、現時点では強靱さという面で物足りなく映るのも事実です。しかしスケールは大きく体にボリュームもあり、今後の育成、調教で着実にレベルアップを遂げ、優れた中距離馬に育つ素質は十二分にあるはず。鋭い反応を示す気性は母譲りだけに、末脚の確かなレース巧者ぶりも期待でき、さらに今年米国クラシック候補が出現したファミリーの活力も本馬を後押ししてくれるでしょう。